

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [清心女子高等学校] 担当教諭名 [松村 亜貴子] (1年C組 国際系コース 11名)

相手国・地域 [パキスタン]

海外学校名 [Modernage Public School & College (Girls)] 担当教諭名 [Mehreen Ansar]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	コミュニケーション英語 I	アートマイルプロジェクト	22

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Good health and well-being & Discrimination related with COVID-19
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	壁画のテーマは、私たちがこの世代で直面している新型コロナの問題を反映している。 SDGs ゴールは「健康と福祉」で、「コロナに関連する差別」を主なテーマに交流を行った。健康と幸福は、体力と精神的安定を意味するが、お互いの国がコロナ禍によって引き起こされる鬱病にどのように対処したか等を伝え合い、自分自身を肉体的にも精神的にも健康に保つためにどのように努めたかを伝え合った。 また、コロナ禍と先頭に立って戦い働いてくださっている医療従事者や、感染者、コロナ感染の大きな一因とされた飲食店などが根拠のない理由や不安から差別の被害に遭われたが、そのような方々に対して自分たちに何ができるかを考え、思いやり、感謝する大切さをメッセージとして壁画に表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
同じテーマについて全く環境の異なる生徒同士が意見交換することは、「異文化理解」の一助となった。文化も言葉も異なる二つの国の生徒が、世界中の国々が抱える一つの問題について学び考える機会となった。 また、想定していた通りの交流が出来なかったことで、環境や生活習慣の違いを体感することとなった。そのため、相手の立場を理解する力、困難なことを乗り越えるために相手に寄り添い工夫する力が養われた。	日本側生徒と比較して、相手国の生徒は年齢的にも語学的にも上だったため、自己紹介の段階から、対等な立場での交流が難しかった。また、なかなかテレビ会議での意志の疎通が難しく、十分にお互いを理解することができなかったため、深い交流に繋がらなかった。これは、担当教員同士が状況や学校体制の違いを十分に確認しあい、理解を深めたうえで、計画段階からもう少し密に連携をとれば解消できた課題だったと反省している。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>国際的な問題にあまり関心がなかった生徒が、視野を広げ、当事者意識を持って考えることができるようになった。</p> <p>また、溢れる情報に立ちすくむことなく、情報を精査し、正しい情報を収集することの大切さに気付くとともに、マスコミ等が流すものの見方に流されることなく、自分で考えて意見をまとめる力が付いた。</p> <p>交流を通じて、文化や考え方の違いを受け入れ、お互いの意見を尊重しながら協働することができた。</p>	<p>パキスタンの方々とのやり取りはもちろんであるが、事務局とのやり取りを通じて、改めて多様性に対する理解の大切さ、自分の価値観を置いて相手の立場に立つことの大切さを認識した。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
<p>出会い 自己紹介</p>	<p>5月 ～ 7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介をする。自分を紹介するスライドを作成し、スライドには夢や抱負を記載する。 学校を紹介したパワーポイントの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のスライドを楽しんで作成した。 それぞれが相手国からの自己紹介に興味関心を示した。 	<p>外国語6</p>
<p>共有 テーマ学習</p>	<p>8月 9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手国について調べ学習し、一つの資料としてまとめる。 世界の様々な課題や、それに取り組む人々について、英文や YouTube を観て学習。 ZOOM ミーティングにて自己紹介と直接の意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手国について知らないことばかりだったため、大変興味を持って調べ学習を進めることができた。 楽しみながら考え学ぶ様子が見られた。 ZOOM ミーティングは言葉の壁にもかかわらず、生徒たちはとても楽しんでいた。 	<p>外国語5</p>
<p>融合 メッセージ作成</p>	<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGs ゴールは「健康と福祉」で、お互いの国の状況をよりよく理解し、関係を築くため「コロナに関連する差別」を主なテーマとした。 ZOOM ミーティングにてテーマ確定。コロナウイルスの様々なトピックスについて活発な議論が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの国がコロナによって生じている問題にどのように対処しているか、話し合うことで、生徒たちの異文化に関する理解、興味、関心が深まった。 	<p>外国語4</p>
<p>創造 壁画制作</p>	<p>11月 12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの議論とブレインストーミング、スケッチのやり取りの結果、構図を決定 日本サイドで基本図面を作成 壁画を作成 出来上がった壁画は校内でも掲示 	<ul style="list-style-type: none"> クラス内で意見の違いが露呈し、葛藤が起こり、困難な時期だった。しかし、それを乗り越えて壁画が出来上がった時、また相手国から戻ってきた壁画を見た時は、充実感に溢れた様子だった。 	<p>外国語6</p>
<p>評価 振り返り 自己評価</p>	<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返って、学んだことと課題点を発表 	<ul style="list-style-type: none"> あまり時間が取れなかったため、ゆっくりと振り返ることができなかった。 	<p>外国語1</p>

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	コロナ禍におけるそれぞれの国の状況について、意見交換を行うことで、それぞれの国が持つ文化の違いがあることを認識でき、理解するようになった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	課題についてのデータや英文を分析し、まとめ発表をする際、マスコミなどが流すものの見方に流されず、客観的なデータを読み取り分析し、主体的に考えるよう指導した。
主体的に考え行動する力	4	コロナ禍の下、差別の被害に遭っている方々に対して自分たちに何ができるか考えることで、高校生にも意志があれば役割を果たすことができるという意識を持てた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	同じ日本の仲間ですえ構図を考える際、なかなか意見がまとまらず、時には衝突することもあった。そのことから、同じ文化を持つ人同士でも意見が違うのだから、海外の相手との協働には、文化や考え方の違いを受け入れ、尊重や思いやりが必要だということを実感した。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	一つのメッセージを可視化するのが難しく、構図に関するアイデアをまとめることに大変時間がかかった。 また、バックグラウンドの異なるパキスタンの方々に構図に込めた想いを先方に伝えることに苦労した。